

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

高岡市長 角田 悠紀

市町村名 (市町村コード)	高岡市 (162027)
地域名 (地域内農業集落名)	福田地区 (石塚、上北島、石名瀬、和田、荒見崎、蔵野町、辻)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年12月14日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・営農組合の高齢化が進んでおり、担い手の確保が重要な課題である。
・各集落の営農組織に対し集積・集約は進んでいるものの、分散錯圃の解消に向けて継続的に取り組む必要がある。
・石塚、石名瀬、和田、上北島地域には集落営農組織がおらず、個人農家が多いため、集積、集約に向けた取り組みが必要であるが、担い手が耕作しやすい農地となるよう用水の老朽化対策や、農地の大区画化・汎用化等に向けた基盤整備が必要となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

米や麦・大豆等の土地利用型作物の作付けの継続を図る一方、人参、大根などの園芸作物の栽培にも取り組む。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	180.98 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	180.98 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業振興地域を基本の区域とし、その中でも農業生産の中心となるエリアである農用地で担い手の意向や周辺農地の状況等を勘案し、農地の活用を促進する。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
集落営農組織に集積、集約を進めることとし、分散錯圃の解消に向けて取り組む。
(2)農地中間管理機構の活用方針
将来の経営農地の集約化を目指し、担い手の経営意向を踏まえて、農地を機構に貸し付けていく。
(3)基盤整備事業への取組方針
・農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備に取り組む。 ・老朽化により、十分な通水ができない農業用水の整備を検討。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市町村及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

集落営農組織においてドローン等のスマート農機を導入し、農業の省力化、効率化に取り組む。